



協社にちしゃ 会報

No. 3

社日地区社会福祉協議会
(社日交流センター内)

〒692-0011
安来市安来町1281番地1
電話 23-2048

平成24年7月発行

社日地区社会福祉協議会
社日地区社会福祉協議会に期待する

社日地区社会福祉協議会
顧問 高橋 信義

社日地区の誕生は、安来小学校児童数(当時の児童数は、千四百人)のマンモス化により、昭和五十三年四月一日から安来小学校が二分化され、十神・社日小学校として誕生しました。行政上の地区名についても、そのまま十神地区、社日地区と命名されました。

当時、社日小学校を支援する立場にあった私どもは、『十神地区には負けない。』を、合い言葉に頑張りました。十神地区に有るものは、当然、社日地区にもあるべきだという論理です。

その一つが安来地区社会福祉協議会の二分化について、非公式に安来地区の会長さんに分割の要望をしましたが、社日地区には人材なしと一蹴された記憶があります。

社日小学校がスタートして六年後の昭和五十九年四月一日に社日地区学習等供用施設(名称は防衛庁の補助金による。名称を短縮して「学供」と言いました。)いわゆる現在の交流センターが設置されました。

地区社会福祉協議会の二分化は、歴代館長、仲西勲、上田達雄、大森力雄、多胡勲の各氏が努力されたが二分化するまでには至らなかった。その後、岩佐鬮己館長の精力的な努力により、小学校二分化後三十二年の歳月がかかったが、昨年四月一日から社日社協がスタートしました。岩佐鬮己会長のご努力に感謝申し上げます。発展途上にある社日地区は、交流センター(今岡孝示館長)社会福祉協議会(岩佐鬮己会長)の二つの基本組織が提携し、順調な運営が行われています。

社日地区社協の事業については、安来市社協への協力事業や民生委員さんと共同で行う事業など、種々ありますが、さらに独自事業を行ったりすることも考えていく必要があります。

私どもは、ともかく社日地区の皆様と共に、地域福祉発展のために活動したいと存じます。皆様のご協力よろしく願います。

香典返し等は社日交流センターで受付

社日地区社会福祉協議会では、地区の皆さんからの香典返し、玉串料返し、見舞い返し、一般寄付などは、社日交流センターで受け付けます。

寄付の方法についてもご相談に応じています。

社日地区社会福祉協議会役員名簿 (平成24年4月1日現在)

会長	岩佐 嵩己 (元社日交流センター館長)	評議員	鎌本 利正 (社日地区自治会協議会監事(八幡町))
監事	鎌本 利正 (社日地区自治会協議会監事)	評議員	二岡 麻昭 (社日地区自治会協議会会長(城谷町))
監事	野坂 悦由 (社日地区自治会体育協会会長)	評議員	野坂 尚広 (東加茂1)
顧問	高橋 信義 (社日地区人権(守り育てる)会会長)	評議員	岩田 英樹 (桜ヶ丘)
理事	丸山 征司 (現市議会議員)	評議員	渡部 良男 (社日町)
理事	大島 好 (社日地区自治会協議会副会長(東加茂2))	評議員	渡部 良 (加茂町)
理事	遠藤 良市 (社日地区自治会協議会代表(西御幸))	評議員	二岡 康博 (長谷津町)
理事	庄見 洋一 (社日地区自治会協議会代表(日立町))	評議員	田子 竣 (宮内町)
理事	野坂 悦由 (社日地区自治会体育協会)	評議員	高見 将訓 (白井町)
理事	渡部 隆 (社日地区自治会体育協会)	評議員	遠藤 圭介 (神田町)
理事	角森 恵治 (社日地区自治会体育協会)	評議員	野坂 義則 (旭ヶ丘)
理事	吉野 和夫 (民生・児童委員)	評議員	山本 敏枝 (民生・児童委員)
理事	木口 元子 (主任児童委員)	評議員	角森 珠子 (民生・児童委員)
理事	今岡 孝示 (交流センター館長)	評議員	安藤 洋介 (民生・児童委員)
理事	奥村 陽吉 (地区住民生)	評議員	小藤 芳明 (民生・児童委員)
理事	安部 恭子 (地区住民生)	評議員	木戸 芳己 (民生・児童委員)
評議員	岩佐 嵩己 (地区社協会長)	評議員	吉木 正信 (寿会委員)
評議員	木戸 精一 (社日地区自治会協議会副会長(東御幸))	評議員	谷川 実 (寿会委員)
評議員	青戸 真二 (南城谷町)	事務局長	松原 健治 (会長任命)
評議員	松本 謙二 (東社日町)	会計	八幡 節子 (会長任命)

平成24年度 事業予定

- あじさいの会 6月5日(火)
独り暮らし高齢者レクリエーション
- 赤い羽根共同募金
街頭啓発
- 歳末助け合い募金
- 青少年健全育成の助成
小学校、保育所
- 在宅寝たきり老人介護者慰問

善意のご寄付
ありがとうございました。

受付 平成24年4月1日より
平成24年6月30日まで

社日地区社会福祉協議会に指定寄付をいただきました。
厚く御礼申し上げます。
地域福祉の活動に活用させていただきます。

▽香典返し(〇)は、故人
東御幸

安全 安心な暮らし
地域福祉の充実と増進
助け合いの精神
身近な絆を大切に
健康 元気 明るく

